

地域連携センターだより

IZUMI CITY GENERAL HOSPITAL
和泉市立総合医療センター

発行／和泉市立総合医療センター 地域連携センター（毎月1回発行）
電話／直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX／直通 0725-41-2513

ご挨拶



春陽麗和の好季節、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。私が院長となり1年が経過し、また新しい1年が始まろうとしています。この1年間でも大きく病院は変わりました。救急医療が軌道に乗り、手術件数も大きく伸び、移転後に新設した診療科も広く認知されるようになりました。

病院は順風満帆のように見えますが、地域の基幹病院ならではの問題も出てきました。外来患者数は多い日で1日1100名を超すようになりました。満床で入院目的の紹介を受けられない事や、救急患者の受け入れができないこともあります。去年の村上総長の挨拶にありますように、CT、MRIは各2台体制で運用していますが、1ヶ月先でも予約で埋まるようになりました。多くの医療機関から患者様を紹介して頂き、迅速で適切な医療を行い、33診療科が有機的に結合した病院を目指していますが実現にはもう少し時間がかかりそうです。外来診察室の有効利用や入院期間の短縮、安定した患者様の逆紹介をさらに進めていき、皆様の期待に応えていくよう努力してまいります。

さて2020年度の目標ですが、先進がん治療を行うために手術室にダビンチを導入し、まず泌尿器科の手術から運用していきます。血液内科では、すでに骨髄移植による白血病の治療を行っていますが、クリーン・ルームが3室しかなく運用に支障をきたしていました。この件につきましてもクリーン運用できる病床を10床増やす予定です。救急医療に関しても、これまでHCU運用にて重症患者に対応してきましたが、今年度ICU運用に変更し、診療体制を強化します。がん診療においては、患者様から要望の多いゲノム医療への積極的な取り組み、がん相談室の充実を図ります。

急性期病院としての役割、地域の中核病院としての責任、専門医療の充実、そのすべてが当センターに求められていることを痛感しています。どうか今年度もご支援のほどよろしくお願いいたします。



和泉市立総合医療センター病院長 松下晴彦

ご挨拶



平素より地域の医療や介護に携わる皆様方には、多大なご協力とご支援を賜り誠にありがとうございます。

当院は新築移転後2年が経過し、本年4月が「総合医療センター」としての3年目のスタートとなります。当初からの私たちの目標は、「総合医療センター」の名に恥じることのないように、高度医療の提供、救急医療の充実、災害医療への対応、優れた医療人の育成などを通じて地域医療に継続的に貢献することでした。もちろんその目標は今も変わらず、いくつかの課題の残すものの、職員一同日々努力を怠らず地域医療に携わっております。しかし一方では、地域住民の高齢化が進む中で、患者さんを中心に地域全体で切れ目のない医療・介護を提供するシステムにニーズが高まっていることも痛感しています。言い換えれば、地域医療において患者さんには『医療』のみならず『介護』『予防』『住まい』『生活支援』が一体的に提供されることが理想です。そのためには医療提供側から、いろいろな職種の方と連携させていただき、地域住民の健康・福祉を推進していく必要があります。それも基幹病院としての重要な役割であると考えております。地域住民の皆さんが日夜安心して医療が受けられる基盤作りのためには、地域の医療や介護に携わる皆様方のご協力が不可欠です。今後もより一層強力な連携体制を構築していきたいと願っております。

質の高い医療の提供はもとより、いざという時に頼りになる病院を目指し、職員一同これからもより一層の努力をする所存です。本年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

和泉市立総合医療センター 特任病院長

近畿大学医学部地域医療連携学総合講座 泌尿器科部門教授

西岡 伯



病院の理念



1. 患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に務めます。
2. 患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
3. 新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
4. 思いやりのある医療人の育成に努めます。

ご挨拶



春暖の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配賜り、心から感謝いたします。

時間の流れは早く、新病院に移転して3年目の春を迎えました。振り返ると、1年目は新病院の設備や機器に慣れず、また当初の予想をはるかに超えた患者数に四苦八苦する結果となり皆様には多大なるご迷惑をお掛けしました。

2年目に入り、新たな仲間も増え、一層業務に邁進しなければならないと志を高くもっていましたが、各診療科の新たな取り組みについていくことに精一杯で満足のいく結果ではありませんでした。

今年度は、フレッシュな若手から経験豊富なキャリア組まで幅広い層の看護師が新たな仲間として加わります。以前からご指摘いただいております「看護師不足問題」に解決の糸口が見つかり、これまで以上に充実した取り組みが可能になると期待しております。

現在、当院には皮膚・排泄ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、感染管理認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、がん放射線療法認定看護師が在籍しています。その他、INE（インターベンションエキスパートナース）、消化器内視鏡技師認定資格、社会福祉士、保健師の資格を持った看護師がいます。さらに、次年度は乳がん看護認定看護師、認知症看護認定看護師が誕生する予定です。

高い専門性をもった看護師たちが院内だけにとどまらず、地域にも活躍の場を広げ皆様のニーズに応えられるような体制づくりに取り組みます。また、教育・研修の充実をはじめとする人材育成サポート体制も整備し、看護の質向上に努める所存です。

そして、今年度のもう一つの目標は「地域との強い連携」です。昨年11月、和泉市内にある10病院の看護組織の代表が一堂に会し、意見を交わす機会に恵まれました。病床機能の垣根を越えて、それぞれの立場・視点から交わされる「地域医療」についての議論は、新たな気づきを起こし、予想だにしない課題を浮き彫りにしました。今年度も引き続き、同じ地域で医療を支える“看護の連携”を進めてまいります。また、看護のみならず地域の医療関係者の皆様と顔の見える関係を構築し強い連携を目指すことが、市民の方々へより良い医療を提供することに繋がると改めて実感しております。つきましては、一層の地域連携強化を目指し、職員一同精一杯努めてまいりますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



看護部長 川口 いずみ

入退職医師のご案内

令和2年3月末付け 退職常勤医師

小児科	矢崎 耕太郎	整形外科	柳井 亮介
呼吸器内科	上田 隆博	脳神経外科	田崎 貴之
肝胆膵内科	野々村 綾実	泌尿器科	桑原 賢
消化器内科	山懸 洋介	歯科口腔外科	趙 正秀
リウマチ膠原病内科	赤澤 宗輝	血液内科	波江野 高大
リウマチ膠原病内科	石村 香織	呼吸器外科	下治 正樹
皮膚科	渡邊 美樹	内分泌糖尿病内科	神山 真紀子
整形外科	溝川 滋一	放射線科	岡崎 真大
整形外科	村上 将一	放射線科	堤 真一
整形外科	上田 昭一		

令和2年4月付け 入職常勤医師

循環器内科	松本 健嗣 (令和2年3月23日付)	脳神経内科	山名 正樹
循環器内科	中村 友香	リウマチ膠原病内科	池田 房代
泌尿器科	大関 孝之	リウマチ膠原病内科	山澤 広嵩
整形外科	大山 洋平	腫瘍内科	黒崎 隆
整形外科	増田 淳	婦人科	松原 裕明
整形外科	谷脇 浩志	病理診断科	佐野 寿郎
整形外科	本吉 俊貴	放射線科	前田 裕之
呼吸器外科	福田 祥大	呼吸器内科	田中 秀典
皮膚科	川合 未紗	肝胆膵内科	林 下 晃士
小児科	秦 直樹		
歯科口腔外科	下岡 拓矢		

令和2年3月13日(金)時点

4月休診のお知らせ

眼科

3日(金) 二出川 弘樹 医師 休診
8日(水) 小長谷 奈美 医師 休診

泌尿器科

25日(土) 泌尿器科 休診

耳鼻いんこう科

1日(水) 西原 美沙子 医師 休診
大平 乃理子 医師 代診
7日(火) 森 安仁 医師 休診
西原 美沙子 医師 代診

内分泌糖尿病内科

7日(火) 水本 加津子 医師 休診

随時、追加や変更になっている可能性がございます。最新情報につきましては、お問い合わせくださいますようお願い申し上げます。